

**平成20年度
学校関係者評価表**

平成21年3月

宮崎県立富島高等学校(定時制)

平成20年度 宮崎県立富島高等学校(定時制)自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
教 務 部	授業への出席率や学習意欲を高める。	単位修得についての説明を頻繁に行い、自己の修得単位や成績についての意識を高めさせる。 毎月1回定例の職員研修会を開催し、生徒の出席や生活状況の報告をうけて、問題のある生徒の指導方法を検討する。	不登校ゼロ、長期欠席者の激減、退学者の減少 出席率の向上(18 年 86.7 % 19 年 87.2 % 20 年 89.3 %)。 全職員による中学校訪問の実施と情報交換。 欠課時数上限、1 単位 5 時間から 4 時間へ変更。 中学校説明会への参加による定時制理解の向上	3	3	4	月 1 回の職員研修会を開催することにより、単位修得、必修科目など、生徒に細かく説明ができています。
	基礎的・基本的な学力の定着をはかる。	1 年生の数学に習熟度別学習を行う。 2 年生の簿記にティーチングを行う。 年 7 回の基礎学力養成週間を設定し、国社数英 4 教科の基礎学力を育成する。	欠点保持者の激減。 年間を通じたプリントの保管指導の徹底。 学習環境整備のための、生徒による清掃時間の設定。	3	4	4	基礎学力の定着を目指し、習熟度学習などを実施しており評価できる。 本来の高校でのカリキュラムがスムーズに行われるかが懸念される。
	2 学期制の特徴を生かした教育課程の充実をはかる。	他校の情報を収集し、より適切な教育課程の研究と編成に努める。	精勤賞策定による生徒の督励。 前期卒業式に関する規定の策定。 技能審査による単位認定制度の導入。	3	3	3	
	教科代表者との連携をはかる。	授業時数の確保につとめ、年 2 回の職員相互の授業参観週間による授業力の向上、教材作成の工夫や指導法の改善をはかる。 検定合格や資格取得を支援する。	検定合格者数の増加(19 年 19 名 20 年 30 名)。 定通併修制度の活用など 3 年間で卒業できる生徒への支援の充実。	3	4	4	検定合格者数が高いことから、教育の目的に沿った成果が十分に上がっていると判断できる。

平成20年度 宮崎県立富島高等学校(定時制)自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
生徒指導部	基本的な生活習慣の確立を図り充実した学校生活を送る生徒を育成する。	S H R前に校門での立ち番や校内外巡回指導を行い、授業やH Rなどへの参加を促す。	生徒指導内規の策定と施行。 マナー指導などによる問題行動の激減。 校門での立ち番や校内外巡回指導の継続。	3	3	4	毎日登校時の校門立ち番指導、校外巡回指導など生徒とのコミュニケーションを図りながら行われており、高く評価できる。
	ルールを遵守する態度の確立を図り、分別ある行動ができる良識ある生徒を育成する。	生徒指導部の確認事項を配布し、説明を行うことによって、ルールを認識させる。 生徒の情報を共有し、全職員で連携を図りながら問題行動などに対応する。	警察との連携の強化による安全指導対策。 生徒会活動の活性化。 交通安全教室、救急救命講座、人権教育講演会の実施。	3	4	4	生徒指導内規の作成・施行は高く評価できる。今後とも、全職員による一貫した生徒指導を行ってほしい。
	生徒の豊かな心を育成するために、H R活動・生徒会活動・部活動などを通して自主的に活動する態度を身につけさせる。	歓迎遠足の昼食作りや対面式での交流を通してクラスや学年間の親睦を深めさせる。 定通体育大会に向けて、すべての生徒が部活動に加入し、練習する。 歓迎遠足、生徒総会、文化祭、卒業生を送る会等生徒会が中心となって自主的に運営する。	生徒生活体験発表会・文化のつどい当番校としての生徒一人一役による大会運営の大成功。 体験的な活動を通しての他校との交流。 生徒会役員への表彰規定の策定。 声かけ事案や不審者への具体的対応マニュアルの作成。	3	3	3	本年度初めて、高文連生徒会交流部門定通部会が開催され、意見交換会に参加した事を今後の生徒会活動に活かしてほしい。この目標は成果があると思う。
	他人に対する思いやりと優しさを持ち、お互いの人格を尊重しあえる生徒を育成する。	毎学期学校独自のテーマを設定したり、人権啓発の講演会や映画などにより生徒の意識の高揚に務める。 警察署による交通安全教育や消防署による救急救命講座・健康教室などを通して、生命の重要性や大切さについて考えさせる。また、自己肯定感を養い、一人一人がかげがえのない存在であることに気づかせる。 クラスマッチや文化祭などを通して協調性を身につけさせ、他人に対する思いやりや優しさを身につけさせる。	部外者がいつでも校内へ入って来れる状況への対応の改善。 中学校説明会参加による定時制理解の向上。	3	4	3	心の時代と言われる現代において、テーマを設定して人権学習に取り組んでいることは評価できる。 生徒一人一人の心に届き、信頼感を深める指導支援を今後とも続けてほしい。

平成20年度 宮崎県立富島高等学校(定時制)自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
進路指導部	社会に適応できる生徒の育成を図る。	<p>日常の授業及び生活の中で「忍耐」「誠実」「勤勉」の態度を身につけさせる</p> <p>職場での生徒の勤務状況を把握するとともに、雇用主に本校生徒の雇用拡大をお願いする。</p>	<p>全職員による職場訪問の実施。</p> <p>生徒の一層の意識高揚・目標設定のための進路指導の充実のための工夫。</p>	3	3	4	<p>基礎的な生活習慣は家庭での問題でもあり、保護者との連携も必要である。</p> <p>勤務状況を把握することは心身両面の把握であり、又、企業へのアピールもされているので、高く評価できる。</p>
	教科と連携した進路指導により進路意識を高め、実務代替制度の推進を図る。	<p>職業講座を開催し、働く意義や日常の心構えを学ばせる。</p> <p>毎週求人情報を校内に掲示し、生徒の条件にあった職場情報を配布する。</p> <p>全職員による職場訪問を実施し、定着指導と職場開拓を行う。</p>	<p>年間5回の統一LHRなど、計画的・継続的な進路指導の充実。</p> <p>教室、廊下を使った進路情報、求人情報の掲示。</p> <p>進路意識の向上を目指す、職業講話や進路体験発表会(合格体験発表会)の実施。</p>	4	4	4	<p>外部機関に積極的に働きかけ、外部講師による講座を開催しても良いのではないかと。</p> <p>掲示することにより生徒は情報が得られるが、以後の個別指導が課題である。</p> <p>全職員による就職支援体制ができており評価できる。課題として、職員間の情報の共有を。</p>
	進学指導を推進する。	<p>進学については、生徒に必要な情報を収集し、個別指導を行う。</p>	<p>短大等2名の進学者。</p> <p>進学希望者への情報提供の充実。</p>	3	3	3	<p>細やかな個別指導が行われていると考えられる。</p>
	就職指導を推進する。	<p>就職については、職場訪問も含めて全職員で指導にあたる。</p>	<p>全職員による職場訪問の実施。</p> <p>従来皆無の求人票手続きによる企業受験により3名合格。</p> <p>全職員による職場訪問・開拓の一層の強化。</p>	4	4	4	<p>非常に充実した指導が行われており、評価できる。</p>

平成20年度 宮崎県立富島高等学校(定時制)自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
保健部	自分の発育・発達や健康状態に関心を持ち、自主的に健康生活を实践する習慣や態度を培う。	健康診断の受診徹底を図る。 健康生活習慣の確立を推進する。	2回の性教育講座、薬物乱用防止講座の実施。 保健室利用の対アツク指導による、当たり前の事が当たり前に行える生徒の育成、基本的な生活習慣の確立、挨拶の励行、思いやりの心を育む教育の充実。 性教育の充実。	3	3	3	多様な生徒へ、ソフト面での役割を担っている保健管理、指導が、充分に行われていると判断できる。

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
事務部	授業料の期限内納入率の向上を図る。	職員会議で定期的に未納状況報告の機会を設ける。 学校全体で未納者対策に取り組むため、担任との連携を深める。	滞納2ヶ月時点での授業料減免手続き督促。	2	3	3	経済の不安定な中での納入率向上は困難ではあるが、担任との連携を深め取り組んでいることは良いと判断できる。

平成20年度 宮崎県立富島高等学校(定時制)自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
学年会	①1年 基本的な学校生活を構築させる。本人・保護者とよく対話をし、信頼関係を築く。	学校生活が確立していない生徒との2者面談を随時実施する。 保護者に対して毎月、欠課時数表や学級通信などを配布する。 3者面談を適宜実施し、保護者との連携を図る。 社会に適応できる生徒の育成を図る	退学者の減少。 検定合格者の増加。 出席率の一層の向上による、基本的な生活習慣確立の促進。 資格取得への挑戦と将来の進路設計への意欲向上。	3	2	3	年々退学者が減少している事を考えると、細やかな指導が行われたと判断でき、評価できる。
	②2年 身近な人間関係を考えさせる。	家庭・クラス・職場の一員としての自分をみつめさせる。 授業への出席率向上を図る 基本的な生活習慣の確立を図る 社会に適応できる生徒の育成を図る	LHR等の積極的活用による進路設計の促進。 進路部との連携による3修制生徒の進路実現。 資格取得挑戦、基本的な生活習慣確立の推進。	3	3	3	基本的な生活習慣の確立を図り、生徒の人的成長に努めている事は良いと考える。
	③3年 よりよい人間関係を形成させる。	集団生活への積極的な参加を促し、向上心ある集団の形成者となるよう援助する。 資格取得や検定合格への挑戦を促し、将来の選択や決定に対する興味・関心を高める。 授業への出席率向上を図る 基本的な生活習慣の確立を図る 社会に適応できる生徒の育成を図る	就労支援の必要な生徒たちへの、各機関と連携による支援の実現。 卒業後の進路開拓。 資格取得への挑戦。	4	3	3	コミュニケーション能力の育成に努め、社会性を育てている事は評価できる。
	④4年 社会の一員としての在り方・生き方を考えさせる。	コミュニケーション能力を高める。 授業への出席率向上を図る 基本的な生活習慣の確立を図る 社会に適応できる生徒の育成を図る	クラス一丸となって学校行事に取り組んだ。 全日制との競合が避けられない県内企業求人についてのハローワークとの連携推進。 進路先の開拓。	3	3	3	就職・進学に向けて適切な指導支援体制ができており、良いと考えられる。